



釜石
WORKCATION

釜石ワーケーションシンポジウム

釜石から考える、ワーケーションが実現する 地方創生とビジネス機会の創出

2023
5.25 木

開催時間 ▶ 15:00-16:10

参加
無料

ベクトルスタジオ **先着30名**
またはオンライン配信

東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ18階
株式会社ベクトル事務所内

働き方の多様化、企業の経営課題への対応、次世代産業創出、新たな旅のスタイル、地方移住・・・、さまざまな観点から注目の高まるワーケーション。多くの取り組みが日本全国で始まっている一方で、その浸透はまだまだ道半ば。受け入れ側のまちや市民、訪れる側のワーカーや企業など、多様なステークホルダーにとって価値のある真のワーケーションとは、いったいどんな形なのでしょうか？本シンポジウムでは、震災から12年を迎え、復興とともに多様な人たちとの協働を行ってきた釜石が新たに取り組むワーケーションを題材に、まちと企業とのビジネスチャンスに向けた協働、そして持続可能な地方創生のあり方について議論します。

釜石ワーケーション (ラーニング・ワーケーション in 釜石) とは

釜石は企業からの派遣型の受入れを中心に、釜石でしかできない「研修」「体験プログラム」によって学びを得る「ラーニング・ワーケーション」を提供。震災を体験した釜石だからこそ提供できる震災関連の研修プログラムから、リーダー人材育成やチームビルディング、防災意識の向上、また持続可能な観光実践の先進地から学ぶSDGsなど、企業課題の解決に貢献します。研修プログラムの他にも、漁業や林業を活用した自然豊かなアクティビティ体験など、非日常体験がリフレッシュだけではなくチームの結束にも寄与します。

釜石ワーケーション
詳細はこちら



<https://www.workcation.visitkamaishi.jp/>

以下QRコードから
お申込ください

主催



OKAMURA

共催

WORK MILL



シンポジウム内容

基調講演

登壇者 ▶ 総務省 情報流通行政局地域通信振興課
課長補佐 佐藤 浩行

釜石ワーケーション概要説明

登壇者 ▶ (株)かまいしDMC
代表取締役社長 河東 英宜

パネルディスカッション 第一部 マクロ編

関係人口は、どうしたら関係してくれるのか？まち、企業、行政の思惑をひもとく
ワーケーションの目的・目標として挙げられる関係人口。しかし、それってそんなに簡単なことでしょうか？
まち、企業、行政の思惑をひもときながら、まちと企業、まちとワーカーとの関係づくりについて考えていきます。



岩手県釜石市長
野田 武則



日鉄興和不動産(株)
代表取締役副社長
吉澤 恵一



総務省 情報流通行政局
地域通信振興課 課長補佐
佐藤 浩行



日本商工会議所
地域振興部 副部長
大内 博

パネルディスカッション 第二部 ミクロ編

持続可能な地方創生に向けた、
まちと企業との協働の可能性

ワーケーションの受け入れ事業の構築、発展、ひいては地方創生の
実現のためにも、まちと企業の協働はもっともっと広がる必要があります。
釜石や各地のワーケーションの現場で起きていることを見つめ直し、
まちと企業の向かうべき協働のあり方について議論します。



(株)かまいしDMC
代表取締役社長
河東 英宜



関西大学社会学部教授
実践女子大学非常勤講師
松下 慶太

ファシリテーター（一部・二部共通）



株式会社オカムラ
働き方コンサルティング事業部
ワークデザインストラテジー部
コンサルティングセンター
フューチャーユニット
ユニットリーダー

庵原 悠

注意事項

- 当日は、進行内容に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- オンライン視聴の推奨動作環境は以下となります。
 - － OS: Windows 8.1以降 / Mac OS X (Mac OS 10.10以降) / Android 4.2以上 / iOS 8.0以上
 - － ブラウザ: Google Chrome 最新バージョン / Edge 最新バージョン※Edgeのアプリロゴが新しくなっているかをご確認ください